



けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



縁側で出荷前の一休み「べにこはく」
(福島市上鳥渡)



福島県オリジナル品種の「べにこはく」
は甘酸っぱくて、とってもジューシー。
美味しいからみんなも食べてみてね！

目次

- ・「おいしい けんぽく いただきます」第2回フォトコンテスト審査会を開催しました！（企画部）・・・P 2
- ・多面的機能支払の活動で県知事賞を受賞しました！（農村整備部）・・・P 3
- ・「上名倉地区農用地利用改善組合」が設立されました！（農業振興普及部）・・・P 4
- ・福島・川俣地域新規就農者研修会「見学バスツアー」＆「経営基礎セミナー」を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 4
- ・「林業労働安全パトロール」を実施しました！（森林林業部）・・・P 5
- ・「ふくしま県北まるごと物産展 2020」が開催されました！（企画部）・・・P 5
- ・「県北地方園芸振興セミナー」を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 6
- ・安全パトロールを実施しました！公共工事労働災害ゼロへ！（総務部・農村整備部・森林林業部）・・・P 7
- ・「経営改善セミナー」を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 7
- ・「県北地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 8
- ・「福島地域酒米研究会」が初の販売会を行いました！（農業振興普及部）・・・P 9
- ・農業塾モモコース（第5回整枝・剪定実習）が開催されました！（伊達農業普及所）・・・P 10
- ・農家民宿の誘客拡大に向けて「WEB 管理研修会」を実施しました！（企画部）・・・P 11
- ・ニホンザル対策として動物駆逐用煙火の技術習得研修会を開催しました！（伊達農業普及所）・・・P 12
- ・スマート林業を推進しています！（森林林業部）・・・P 13
- ・農業における経営継承セミナー「円滑な経営継承のために」を開催しました！（安達農業普及所）・・・P 14
- ・Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が開催中です！（企画部）・・・P 15
- ・「おいしい 冬のけんぽく いただきます！」第3回フォトコンテストを開催中です！（企画部）・・・P 16



「おいしい けんぽく いただきます！」第2回フォトコンテスト 審査会を開催しました！



令和2年12月9日（水）、当事務所内において、「おいしい けんぽく いただきます！」第2回フォトコンテストの「所長賞」と「次長賞」の選考会を開催しました。

フォトコンテストは令和2年10月1日（木）から11月30日（月）まで実施され、45名から149点の応募がありました。

「所長賞」は、伊達市産のりんご（紅玉）のきれいな赤色を生かしたおいしそうなお手づくりケーキを投稿した、Instagramアカウント名@momo_momo_1982様の作品が受賞されました。

「次長賞」は、果樹園で、なしがおいしそうに実っている様子を投稿した、Instagramアカウント名 @_y. photo_ 様が受賞されました。

「とってもおいしそうで賞」、「インスタ映えしてるで賞」、「Hot フルーツ賞」の受賞者、受賞作品については当事務所のホームページに掲載していますのでぜひ御覧ください。

（企画部）



選考会に臨む飯沼所長(右)、佐藤次長(中央)と
農業振興普及部職員(左)



所長賞受賞作品



次長賞受賞作品

多面的機能支払の活動で県知事賞を受賞しました！！

令和2年12月21日（月）に、福島県多面的機能支払推進協議会主催の「令和2年度福島県多面的機能支払交付金 優良活動組織表彰」の表彰式が行われました。

今年度は、当所管内より二本松市の「大平北部ネットワーク」が最優秀賞の福島県知事賞、伊達市の「細谷新田水環境保全協議会」と「上原水と緑の会」が優秀賞の福島民友新聞社賞を受賞しました。

「大平北部ネットワーク」は多様な団体と連携して、耕作放棄地を活用した地域の活性化の取組が評価されました。「細谷新田水環境保全協議会」と「上原水と緑の会」は、両組織が連携して、耕作放棄地を解消した取組が評価され、連名での受賞となりました。

各受賞組織の活動の詳細は、下記URLに掲載されていますので、活動の参考にしてください。

福島県多面的機能支払推進協議会 優良活動組織表彰HP

URL:<http://www.f-nmk.jp/commendation/index.html>

（農村整備部）



表彰式の様子



福島県の農林水産物の魅力を全世界に伝えるアニメーション「食べちゃったっていいのにな！」のキャラクターです。

「上名倉地区農用地利用改善組合」が設立されました！

令和2年11月15日（日）、福島市西地区集会所において、「上名倉地区農用地利用改善組合設立総会」が開催され、関係者を含め約30名が出席しました。

上名倉地区権利所有者102戸のうち77戸が本組合への加入を表明していますが、感染症対策のため19名の出席者以外は委任状もしくは議決権行使書による票決となり、組合規約、農用地利用規程および役員が承認され組合が発足しました。

同地区での基盤整備及び担い手への集積が念頭にあり、今後幾多のハードルを乗り越え、持続的な営農が可能となる組織へ発展することが期待されます。（農業振興普及部）



選任された高橋組合長による議事進行



基盤整備に向けた質疑応答

福島・川俣地域新規就農者研修会「見学バスツアー」&「経営基礎セミナー」を開催しました！

今年度、当事務所や市町村、JAに就農相談された方を対象に就農に向けた研修会を企画しています。11月30日（月）開催の先輩就農者を訪問する「見学バスツアー」には12名、12月16日（水）開催の農業経営の入口を学ぶ「経営基礎セミナー」には13名の就農希望者が参加されました。

「見学バスツアー」は、就農3～6年目の野菜生産者3名および長期研修者を受け入れる果樹生産者1名を訪問し、リアルな就農への道のりを興味深く伺い、多くの質疑応答が飛び交いました。

「経営基礎セミナー」では、当部職員から農業を取り巻く情勢や目指す農業経営のシミュレーション、ひと・もの・かねの確保について説明があり、真剣に聞き入る姿が印象的でした。

年明けには「土づくりセミナー」及び「農作業安全セミナー」を予定しています。

（農業振興普及部）



ほ場で先輩就農者の話に聞き入る参加者



農業を始めるまでのハードルを学ぶ参加者

「林業労働安全パトロール」を実施しました！

令和2年11月18日(水)、本年度4回目の林材業労災防止協会福島県支部と合同による「県北地方林業労働安全パトロール」を実施しました。今回は、ふくしま森林再生事業や森林整備センター事業等の間伐を中心に、立木の伐採や機械搬出などの作業について現場指導をしました。

全国的林業労働災害の発生件数は、総数としては減少しているものの、建設業などの他産業と比較し約9倍となっています。平成30年の事故の発生率(労働災害千人率)を見ると、全国平均では千人当たり20.5人の方が死傷(4日以上のお休業等)となっていますが、福島県では千人当たり8.5人と全国の都道府県で4番目の低さとなっています。

また、事故の約60%がチェーンソー操作による伐倒事故関係であることから、危険エリアを樹高の1.5倍から2倍にしたり、保護ズボン着用の義務化など規則の見直しが行われています。今後も、法令の遵守と労災事故ゼロを目指して指導していく計画です。

(森林林業部)



伐採現場の指導状況



機械搬出現場の指導状況

「ふくしま県北まるごと物産展 2020」が開催されました！

令和2年12月11日(金)、12日(土)の2日間、福島市のコラッセふくしま1階にある「福島県観光物産館」において、県北地方振興局主催による「ふくしま県北まるごと物産展 2020」が開催されました。

県北地方の各市町村がそれぞれ特産品を販売したほか、県立福島明成高等学校の生徒たちが育てたシクラメン、県立福島商業高等学校の生徒たちで開発した福うさぎパンなどを販売しました。また、物産展での購入者には、川俣町特産のアンズリウムがプレゼントされ大盛況でした。

(企画部)



お客様に商品について説明する高校生たち



プレゼントされたアンズリウム

「県北地方園芸振興セミナー」を開催しました！

令和2年11月26日（木）、JA福島ビルにおいて、当事務所と「県北地方新たなふくしまの未来を拓く園芸振興推進会議」の主催による、「令和2年度県北地方園芸振興セミナー」を開催しました。

本セミナーは園芸品目の振興を目的に毎年開催していますが、今回は「新技術導入による収益性の高い野菜産地づくり」をテーマに、4年ぶりに野菜を対象として開催したところ、生産者や関係機関・団体職員等56名の参加がありました。

セミナーでは、農研機構東北農業研究センターの岩崎泰永領域長より「環境制御技術の基礎とポイント」という演題で講演いただいたほか、伊達農業普及所の門田敦生技師より「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」を活用した「いちごの複合環境制御技術による安定生産」について事例発表を行いました。

また、新技術紹介として株式会社イーエス・ウォーターネットから養液栽培等、ヤンマーアグリジャパン株式会社から長ネギ等の機械化体系、株式会社イノフィスからマッスルスーツについて、動画や実際の商品を用いて紹介がありました。

参加者からは多くの質問等があり、技術及び収益性を向上させようとする熱意が感じられ、また、紹介いただいた野菜の新技術に対しても関心が高い様子でした。

（農業振興普及部）



農業振興普及部岡部部長から主催者挨拶



岩崎領域長の講演



事例発表に対する質問



先端技術の紹介

安全パトロールを実施しました！公共工事労働災害ゼロへ！

令和2年12月9日（水）に、労働災害の未然防止を目的として、福島労働基準監督署職員と当所職員が県発注の現場をパトロールし、安全管理体制の確認や危険状態、危険行為等の確認をしました。

どの現場も、日頃から安全対策をしっかりと行いながら工事を進めていることが確認できました。これからも公共工事労働災害ゼロを目指し、引き続き対策に取り組んでいきます。

（総務部、農村整備部、森林林業部）



安全パトロールの様子

「経営改善セミナー」を開催しました！

令和2年12月11日（金）、JAふくしま未来松川営農センターにおいて、令和2年度経営改善セミナーを開催し、集落営農を進めている組織代表の方を中心に13名が出席しました。当事務所では、人・農地プランの実質化に向けた取り組みとして、集落営農を推進しています。

本セミナーでは、各地区の受託組織の運営に当たって事業所得等の税務処理が生じることから、組織の形態と税制面からみた受託組織の特徴について学習しました。

参加者からは、「任意組織と法人の税制上の違いについてよくわかった」「農業経営基盤強化準備金についても考えてみたい」「ゆくゆくは法人化したい」という意見がありました。

当事務所では今後も、集落営農の取組を支援していきます。

（農業振興普及部）



セミナーの様子

「県北地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催しました！

令和2年12月9日（水）、福島県自治会館において、福島県特定家畜伝染病対策県北地方連絡会議主催による「令和2年度県北地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催し、関係機関・団体から88名が参加しました。

今年度は西日本を中心に家きんににおける高病原性鳥インフルエンザが多発しており、過去最多の殺処分数になることが危惧されています。また、隣県の新潟県を含め、多くの県で野鳥からも確認されています。

さらに、豚熱については、本県でも会津若松市で発見された死亡野生イノシシからウイルスが検出され、県内全域で飼育されている豚を対象としてワクチンの初回接種が終了したところです。

防疫演習では、これからの野鳥の本格的な飛来シーズンに備えた鳥インフルエンザや豚熱の発生状況及び対策に関する研修の他に、県北地方版マニュアルの説明やロールプレイングによる初動対応の流れの確認、参加者を3つのグループに分けて作業内容の具体的な説明を行いました。参加者からは、作業における疑問点などについて、多くの質問や意見が出され、有意義な演習となりました。

万が一、特定家畜伝染病が発生した場合に万全の体制で初動防疫が行えるよう、今後も関係機関一丸となって取り組んでいきます。

(農業振興普及部)



研修風景



初動対応のロールプレイング演習



福島県の多彩な農林水産物を代表する「ふくしまイレブン」のキャラクターです。

「福島地域酒米研究会」が初の販売会を行いました！

令和2年12月12日（土）、13日（日）の2日間、福島駅西口のコラッセふくしま1階にある「福島県観光物産館」において、福島地域酒米研究会による日本酒の販売会が行われました。

福島地域酒米研究会は、良質な酒造好適米や地産地消の日本酒による地域振興を目的に、3年前に生産者や蔵元等により立ち上げられました。

今回の販売会は、福島学院大学の木村信綱教授と学生が研究会の活動に賛同し、企画段階から販売会まで関わりました。「福島で育った酒米で醸した日本酒を呑もう！」プレゼントキャンペーンとして、対象の13銘柄購入の方にオリジナル「ボトルバック」や「除菌ティッシュ」をプレゼントすることで、研究会の認知度向上やファン獲得につなげました。週末の福島県観光物産館は多くの人出があり、各日50個用意した限定ボトルバックは昼過ぎにはなくなり、連日100本程度の日本酒が販売されるなど大盛況でした。参加した酒米生産者からは、「自分の作った米から醸した日本酒を多くの人に買って貰えて良かった」との声が聞かれました。

当事務所としましては、新酒お披露目会等の今後の活動に対しても、引き続き支援を行っていきます。

（農業振興普及部）



販売会のプレゼントキャンペーン



販売する日本酒を掲載したチラシ



丹野会長と金水晶酒造店専務



福島学院大学の学生らも販売会を支援

農業塾モモコース(第5回整枝・剪定実習)が開催されました！

令和2年12月15日(火)、JAふくしま未来伊達地区本部が主催している農業塾「モモコース」が開催されました。

農業塾には「モモ」と「キュウリ」の2つのコースがあり、新規就農者や新規栽培者が基本的な知識や栽培技術を習得することを目的にそれぞれ年6回の講座を開催しています。

第5回目となった今回の講座では、当所の担当者がモモの整枝・せん定の基本を説明した後、JAふくしま未来より「農の達人」として認定されている桑折町のモモ生産者蓬田幸夫氏を講師に迎え、モモの整枝・せん定の実習が行われました。

蓬田氏からは、高品質な果実を生産するためのせん定方法を解説付きで実演いただき、受講生も積極的に質問をするなど、充実した講座となりました。

農業塾は12月23日(水)に第6回目の最終講座を迎え、受講者には修了証が授与される予定となっています。

当所といたしましても、今後も新規就農者や新規栽培者に対するサポートを継続し、伊達地区の農業のさらなる活性化を図っていきます。

(伊達農業普及所)



蓬田氏によるせん定の実演



せん定前



せん定後



農家民宿の誘客拡大に向けて「WEB 管理研修会」を実施しました！

二本松市東和地域では、県の過疎・中山間地振興事業「こらんしょ農家民宿・里山魅力向上事業」に取り組んでいます。本事業は、旅行会社 株式会社アクティビティジャパンが業務委託を受けて作成したWEBサイトに、農家民宿で体験できる「農業・農村体験や宿泊プラン」を掲載して情報発信し、併せてネット上から直接予約の受付管理、更に決済処理まで行える仕組みづくりを目指しています。これによりパソコンやスマートフォン等からサイトを閲覧し、申し込みやクレジットカード等による決済も可能となります。

東和地域は県北地方でも農家民宿開業者が多く、隠れた地域資源が豊富な地域ですが、情報発信が必ずしも十分とは言えないことから、これらを可視化してネットに掲載し、関心を持ってもらい、併せて誘客につなげるための導線確保を目的として取組を始めました。

同地区の農家民宿推進主体である「東和地域グリーンツーリズム推進協議会」の協力のもと、9月に会員の農家民宿を対象に説明会を実施し、11～12月には役員や事務局員に、実際にパソコンを使って管理画面にアクセスし「農業体験等プラン」をWEBページ上に作成する研修会を行いました。操作に慣れないと難しいと感じますが、要領が分かれば容易に各農家民宿のオリジナル体験プランを情報発信することが可能になります。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大等もあり、農家民宿を取り巻く環境も厳しい状況にありますが、コロナ終息後の誘客増加やインバウンド需要の回復を見据えた着実な取組を支援したいと思います。

(企画部)



事業の事前説明会(9月14日開催)



WEB 管理研修会(12月14日開催)



ニホンザル対策として動物駆逐用煙火の技術習得研修会を開催しました！

ニホンザルは伊達管内に昔から生息している動物であります。近年農作物への被害が拡大し問題となっています。

そこで、令和2年12月2日（水）、当所と伊達市産業部農政課、JAふくしま未来梁川営農センターが連携して動物駆逐用煙火（追い払い用花火）の研修会を伊達市梁川町白根地区と山舟生地区において開催し、地区住民等約35名が参加しました。

研修会では、当所職員がニホンザルの生態と対策について説明を行った後に、JAふくしま未来事業部の今野文治経済事業課長から、追い払い花火の特性や注意点の説明と花火使用の実演が行われました。

参加者からは、「花火の危険性や追い払いのポイントを再認識することができた」との感想や、ニホンザルの行動、生態について質問が寄せられるなど、参加者同士の情報交換もなされ、大変有意義な研修となりました。

当所としても、鳥獣被害の減少に向けて、関係機関と連携しながら引き続き支援を行っていきます。

（伊達農業普及所）



今野文治経済事業課長による説明



追い払い花火の使用について実演説明



参加者による花火の実演追い払い



花火の注意事項（経済産業省作成ポスター抜粋）

スマート林業を推進しています！

近年、情報技術の発展に伴い、林業分野においてもドローンやレーザ計測等の ICT（情報通信技術）を活用したスマート林業が試行され始めており、林業現場が抱える担い手の確保・育成、作業の効率化・省力化や労働安全確保等の課題解決に向けて有効な手段になると期待を集めています。

令和2年11月5日（木）に福島市のあづま総合運動公園において、林業事業者や行政関係者等を対象とした、「スマート林業実践研修会」を開催しました。

研修では、「身近な ICT（スマートフォン）を活用して、森林情報を持ち出そう！」をテーマとして、航空レーザ計測データや GNSS（GPS）測量等の基礎知識、汎用 GIS を使用した現地踏査用データの作成等の座学研修を行ったあと、公園内においてスマートフォンアプリを使用した現地踏査の操作体験を行いました。

これまで紙地図で行っていた現地踏査ですが、スマートフォンで航空写真やレーザ計測による詳細地形図を基に、現在位置や境界、地形情報が容易に確認できる技術を学ぶことで、新しい林業の可能性を感じる機会となったようでした。

今後も、スマート林業の普及を図り、森林施業の効率化・省力化に繋げていきたいと考えています。

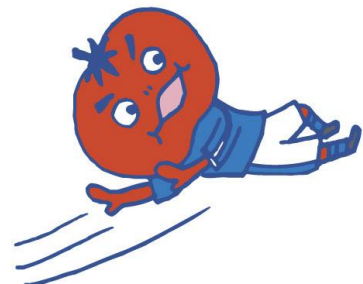
（森林林業部）



汎用 GIS を使用したデータの作成研修



スマートフォンによる現地踏査状況



Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が開催中です！

令和2年12月1日（火）から令和3年1月31日（日）まで、Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」を開催しています。おいしい福島のくだものを1年を通して食べよう！というプロジェクトです。

県北管内10店舗の飲食店が腕を振ります。参加店舗の詳しい情報は下記の二次元コードから当事務所のホームページを御覧ください。

Hot フルーツ商品の写真を撮ってInstagramに投稿すると、入賞者に「Hot フルーツ賞」をプレゼントするフォトコンテストも同時開催中です。フォトコンテストの詳細は次頁を御覧ください。

■開催期間

令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）

■実施店舗

- ・道の駅国見あつかしの郷 ももたんカフェ
- ・Curry dining bar 笑夢
- ・ワインブティック&ベーカリーカフェ midi
- ・福島ワイン酒場
- ・Melon de melon 福島大町店
- ・プティリジェール
- ・スペインバル&リストランテ カメレオン
- ・たいやき十番館
- ・Tea&Bar MAGIE NOIR（マジー・ノアール）
- ・農家カフェ 森のガーデン

■お問い合わせ先

福島県県北農林事務所企画部 ☎024-521-2596

■詳しくはHPを御覧ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/hotfruits.html>

（企画部）



当事務所のHPはこちら
 ちらしもここからダウンロードできます。



「おいしい 冬のけんぽく いただきます！」第3回フォトコンテストを開催中です！

県北地方はおいしい農産物の産地！！福島県産のおいしいお酒、県産農林産物を使ったお酒に合うお料理やおつまみ、6次化商品の写真をInstagramに投稿してください。新酒やお鍋、県北の冬の特産と言えば「あんぽ柿」！おいしい県北の冬の味覚の投稿お待ちしております。

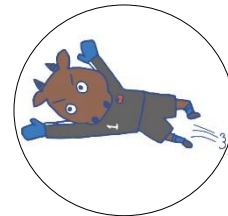
■参加方法

(1) 当事務所のInstagramアカウントをフォローしてください。

「@kenpokunourin 福島県けんぽく農林事務所」で検索するか二次元コードを読み込んでください。

(2) 指定ハッシュタグ「#おいしい冬いただきます」をつけてご自分のInstagramに投稿してください。

Hot フルーツ商品の写真を投稿する際は「#Hot フルーツ」もつけて投稿してください。



このアイコンが目印！



■開催期間

令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）

■お問い合わせ先

福島県県北農林事務所企画部 ☎024-521-2596

■詳しくはHPを御覧ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/oishii-fukushima-itadakimasu.html>

(企画部)

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」共生運動県北地方推進本部
おいしい冬のけんぽくいただきます！キャンペーン
第3回 フォトコンテスト
開催期間：令和2年12月1日～令和3年1月31日

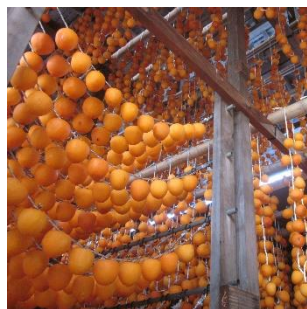
公式アカウントをフォローして、「#おいしい冬いただきます」をつけて投稿してください。
「#Hot フルーツ」のタグもつけてください。

参加方法
福島県北農林事務所公式アカウント(@kenpokunourin)をフォロー後、指定ハッシュタグ「#おいしい冬いただきます」をつけて投稿してください。
※プロフィールで投稿の承認をお願いします。
※プロフィール、自己商品の掲載・転載は禁止です。
※本企画の著作権は主催者に帰属します。

賞品・発表方法
所内で審査し、県北農林事務所ホームページで発表します。当選者へはダイレクトメッセージよりご連絡いたします。

賞品
所賞 (1名) 県北の6次化商品詰め合わせ(5,000円相当)
次賞 (1名) 県北の6次化商品詰め合わせ(3,000円相当)
おつまみセット (5名) あんぽ柿ストラップ
インスタ増えちゃおう賞 (30名) 県北産「天のついで」令和2年度産新米2合
Hotフルーツ賞 (お祝いのお品) 鹿角町のモモを使った「トンドクリーム」と入浴剤

福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課 (法人: 農林事務所) 〒965-8501 福島県北農林事務所
☎024-521-2596 (FAX: 024-521-2850) (Eメール: kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)



写真、お待ちしております♪

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

